



第5章

ソロモンとイスラエル後期のリーダーたちの祈り⑨

ネヘミヤ

悪に対する裁きを求める祈り

目を留めてくださるよう神に求める



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編）240～245ページ
- 主な引用箇所 ネヘミヤ記4章4～5節、5章13節、5章19節、6章14節



質問

- 1 イスラエルの敵の上に裁きを求めるネヘミヤの祈りは、どこから生まれてきていると思われますか？（241～242ページ参照）彼の祈りは何に調和するものだったと思われますか？（242ページ参照）
- 2 ネヘミヤは、自分には人々に約束を守らせることができないと認めたとき、どのように祈りましたか？（242～243ページ参照）あなたは、自分の力で誰かに約束を守らせることが難しいと思うとき、どう祈ったらよいと思いますか？
- 3 ネヘミヤは人々のために熱心に働きました。でも、人々も神もそのことに気づいていないように感じたとき、彼はどう祈りましたか？（243～244ページ参照）ネヘミヤの祈りは適切で必要なことだったと思いますか？あなたにも同じような祈りが必要だと思いますか？
- 4 悪を行なう政治的リーダーたちや巡回伝道者たちに関してネヘミヤが祈った内容は、どのような点で模範にできますか？（244ページ参照）彼の祈りは神に対するどんな信仰を背景としていますか？あなたもネヘミヤのように祈る必要があると思いますか？
- 5 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

天の父なる神さま。ネヘミヤのように、私も悪に取り囲まれることがあります。それでも、自分で報復するのではなく、あなたにおゆだねできますように。自分の奉仕が報われていないと感じるときも、あなたは覚えて下さっていると信じるができますように。